

授業紹介〈絵・彫・・工・映・他〉

『明度分解による写真のデザイン』

高知県立宿毛高等学校 大月分校

立花 沙智野

学校紹介・特色：全校生徒が数十人という小規模校ということもあり、生徒、教員などのつながりが深い。特別支援対象の生徒が多く、生徒の様子も様々で活発か大人しいか極端である。

対象学年：第二学年 12名

所要時間：全10時間予定

題材設定理由：

一年時の色彩の授業の知識を生かして、写真によるデザインをさせたい。本題材はアクリルガッシュを使用する授業であるので画材への理解（特徴、扱い方等）を深め、色選びの際には色のもつイメージ、補色の関係等についても、もう一度触れていきたい。他、緻密な作業であるので特に最初の写真選びが肝心である。細かな作業が苦手な生徒、得意な生徒などそれぞれに応じた写真選びをしたい。

また本時では、アクリルガッシュは色むらのない仕上げにするため、絵具の溶き方、量、箇所による筆の使い分けなども適宜教えていきたい。

他、このような表現はパソコン等で簡単にできてしまうが、手作業による良さを生徒たちには味わってもらいたい。

準備物：写真（雑誌等の切り抜き可）、えんぴつ、色つきボールペン、マスキングテープ、A4画用紙、アクリル絵の具セット

・手順

1 できるだけ大きく、影がある写真を選ばせる。生徒により難易度を考える。」

2 写真をA4サイズに拡大、できるだけ影を飛ばす。※コピーは二枚しておく

3 片方のコピーの裏を鉛筆でこすり黒くして手作りカーボン紙にする。

4 A4画用紙にマスキングテープでめくれるように上2点をとめ先ほどのコピーをつける。



5 色つきボールペンで、明度を3段階ほどに分けながら分解。(生徒によって段階を変えても良い)

6 転写し終わったら、コピーを外し、画用紙の画面の練ゴムで余分な鉛筆の汚れをとり、薄くする。

7 コピーの方に、①～③と分割した部分がどの段階なのか書き込む。

8 混色カードによるカラーチャートを作成 ※ 色彩について振り返る

9 一番明るい部分から順に塗り始める。※途中で分からなくなったら何も手をつけいないもう片方のコピーを見ながら確認すると良い。



・まとめ

本授業は、画力よりも根気と丁寧さが必要である。つまり絵が苦手な生徒でも努力次第では素晴らしい作品を作ることができ達成感へと繋げることができる。

そのためには最初の写真選びで、できるだけ生徒たちが興味があるもの、車や芸能人から選ばせることでさらに意欲向上と達成感に繋がる。

しかし、逆に好きなものだからこそ、うまくいかなくなったときの生徒の煩悶に対する手助けも重要となってくる。